

## Aキューブ・スクールを実現するための要件

(1) 必要なときにいつでもどこでもITが利用できる環境が理想的に整備された学校として、どのような要件が必要と考えられますか。

(回答1)

- ・職員用のパソコンが貸与されたにもかかわらず、鍵付のロッカーに保管することを義務付けられたので、朝晩の出し入れが不便で煩雑。
- ・従って職員は未だにマイパソコンを使ってLANにアクセスしているが、家と職場の行き来や各自がばらばらな機種を使う不便さは感じており、本当は貸与されたパソコンを使いたいと思っている。
- ・教室にLAN端子が配備されているにもかかわらず、職員はほとんどパソコンを教室へは持っていかない。1つは重くて両手がふさがり、カバンとは別に運ばなければならないという基本的な問題。2つめは防犯上の問題。3つめは教室に設置しやすい場所が確保できない問題がある。現状の普通教室ではパソコン用の安全なスペースを確保できない。また、投影しようにも普通教室では設置が大掛かりになり負担が大きすぎる。特別教室にしても問題は似たり寄ったりで改善が必要。
- ・ITの利点はほとんどの職員がわかってきており、環境を整えば運用へのステップは高くない。
- ・6年生がNTTのスクールエースを運用している。担任が地道にがんばっているが、担任は1人、保護者と児童は40人以上なので、メールのやり取りなど毎日の負担が担任にずしりとかかってくる。ただでさえ本校は多忙を極めて全担任が毎日夜8時まで仕事をしている有様。これを見ていたらやってみようという意欲は減退する。担任の負担を抑えながら、連携していく手立てを考える必要がある。

(回答2)

校内のどこからもコンピューターが利用できるネットワーク環境の整備

- ・この要件を満たすときに、記述する必要は無いですが、可能ならワイヤレスLANやハブの存在、また時に、電源をどこからとるのかについて必要になってくると思います。

児童生徒が必要なときにいつでもどこでも使えるパソコンが整備されていること

(パソコン室42台、普通教室1台以上、図書室などとして生徒が自由に利用できるパソコンが10台以上あること 3人/台)

- ・各教室に、1台ずつは、あると便利だと思いますが、特に最後に書かれている生徒が自由に利用

できるパソコンの存在は大きいと思います。例えば、第2パソコン室とか調べ学習室、あるいは図書室など。また、パソコンの台数があること以外に、作業できる場所の確保も大切だと思います。（たとえば、パソコンで調べながら、模造紙にまとめたりする）

家庭でも利用できるよう貸し出しパソコンがあること。

- ・貸し出しするパソコンの管理（貸与の方法、どこにおいておくのか、メンテナンスなど）
- ・プリンターやネットワークの設定についてはどうするのか？

全ての教科指導で、ITを積極的に活用していること

- ・毎時間行うのは、無理なので、必要に応じて道具の一つとして効果的に活用できるときに、使えばよい。また、そのために、例えばITに入れる人を確保することや、複数の部屋の確保ができることよい。

国内、海外からも必要な情報などが校内LANで利用できる環境

- ・ unnecessary ページを閲覧できないようにするとともに、生徒のリテラシーの向上やモラルについて成長を促すことが大切になってくる。

学校の情報が発信されるホームページがあり、家庭でいつでも利用できること

- ・ よいと思います。

すべての教員がITを活用する情報リテラシーを持っていること

- ・ 全ての教員が必要最低限のリテラシーは必要だと思いますが、それに加えて各校に専門的なアドバイザーやメンテナンスを定期的に行える人を雇ったりできるといいと思います。

（回答3）

（1）について、ハード面と教師についての記載が多いですが、次の3つを追加して10項目してはどうでしょうか。

学校行事等で積極的にITを活用する工夫がされている。

教育活動全体を通して、生徒に情報モラルやマナー指導を踏まえた情報教育がされている。

恵まれたIT環境を利用して、学校を開放し、地域や他校との交流を積極的に進めている。

（回答4）

生徒が各家庭からネットワークを通じて学校の先生とアクセスできる環境が望ましいと思いますが、現在は学校間総合ネット内へは無理ですから、各学校の外向きのHPをより充実させることと、掲示板は少し危険なので、メールで意見収集できるよう、またその活用をアピールすべきと思います。

まだまだ学校として情報を発信する量が少ないと思います。学校のHP等が面白くて新鮮であれば、アクセスも増え、活用される機会も多くなると思います。

やはりコンテンツの量と内容をさらに充実でき、使いやすいものであると良いと思います。

ハードが整いつつある中で、職員や生徒に使い使えと叫んでも、やはりソフトが充実してい

ることが必要と思います。

(回答5)

Aキューブ・スクールについて挙げられた7つの要件は、ハード面においても、ソフト面においても網羅された内容であると思います。ですから、あまり意見を述べることはありませんが、その環境整備促進に関して少し思うことは、貸し出し用パソコンです。

これは継続的に供給できる体制が必要だと思います。つまり多くの数量を一度に用意してもパソコンの陳腐化や故障等があり、繰り返しの安定した貸し出しが行えません。(本校の実情がそうです)従ってある程度継続した機械の供給を考えていく必要があると考えます。

さらに、教職員に対しての情報技術やリテラシーの向上のための研修や、外部の専門SEの常駐もサーバ管理等の点からも必要になるのではないのでしょうか。また、話が離れてしまうかも知れませんが、"学校"という観点で考えたとき、開かれた学校づくりとして、双方向の情報通信を実現すべく、テレビ会議のシステム(カメラ・ビデオ等を含む)やプロジェクターやモニターの整備といったハード面の充実のほか、職員一人ひとりや教科等のホームページ(部屋)や、個人のメールアドレスを持つことができればよいと思います。

(2) 今後、このような学校のIT環境の整備をより促進するためには、どのような施策が有効であると考えられますか。

(回答1)

安心して職員室や教室にパソコンを置いておけるように、校舎自体のセキュリティを高める。防犯システムの導入など。個別に鍵をかけるなど泥縄式では教員の負担が増えるばかりでますます運用が遠ざかる。ただでさえ危険物が鍵付の部屋に全て移動され、日々の仕事をする際教師の動線がやたら長くなり、時間と手間がかかるようになっている。

教室設置用の簡便で移動可能なパソコンラックや天井にプロジェクターを設置するなど、IT利用の意欲を高める施設を設置する。

情報に明るい先生がいない学校でも運用ができるように、気軽に技術面を援助してくれるスタッフを配置したり、サーバに置くとよい教材サンプルデータを公開したり、CDで配布する。

(回答2)

使わざるをえない状況を作る。(校内に掲示したりプリントしたりすることをやめてネットワークでのみ閲覧できるような情報を用意する。)

一部のものについて、

例：行事等の写真を配布、販売、掲示をする代わりに、ネットワーク上におく

- ・ 家庭学習のプリントやアンケートなどを、紙で配布するのではなく、データ配布
- ・ あるいは、入力して印刷して提出とか、データのまま提出するようなもの

- ・ 総合や選択のまとめなどを、プレゼンテーションの形で行う など

パソコン室で、普通の授業ができるような環境

(たとえば、後ろまできちんと板書が見えるようにするとか、ノートを取ることが普通にできるようにする、机間巡視ができるゆとりなど)

学校においては、パソコンをおくことで、周りの人との交流がしづらくなっており、一番後ろの席が、通常のクラスよりもだいぶ後ろであったりします。また、パソコンのことや下をカーペットにしていることで、消しゴムの使用を禁止していたりしているところもある。パソコンを中心に学習を行うのではなく、授業の中の5分でも10分でも一部に活用した授業を行うためには、パソコンを使うことの敷居を下げることを考えた特殊な形状の部屋よりもむしろ、パソコン室で通常教室で行う授業と同じことができるようなパソコン室でありたい。

印刷が楽にできること

休み時間などにもすぐ使えるように、すぐ電源が入るか、常時電源をつけている環境。

教員が使う敷居を低くするために、事例を紹介し、お互いに見る時間の確保

ボランティア、もしくは、業者にたのむなどして、管理を専門的に行う人を雇う。

定期的なメンテナンス

通常学級で行うならば、パソコンや、プロジェクターなどの設置にかかわる敷居を低くする。(たとえば、各教室に大型のTVを置き、それとつなぐようにできるようにするとか、プロジェクターを常時設置しておく教室をつくるとか。)

(回答3)

(2)について、こちらの要望になりますが・・・

- ・ 学校専任のSEの常駐
- ・ 校務を軽減化する校務システムの開発(学校独自ではなく、転勤しても同じシステムにする)
- ・ e-learningシステムの開発(教材の一元化と共有)

(回答4)

やはり職員のリテラシー向上が必要で、また情報機器を校務の中いかに積極的に取り入れていくかが大切だと思います。特に高校は職員室が分散しているので、校内ネットワークを活用することが必要であると思います。

職員に対しITがいかに便利であるかを実感させることが大切であると思います。